



右/2024年5月11日、全室半露天風呂にリニューアルし、贅沢なバスタイムを提供。ゆったりと湯に浸かりながら、大自然との一体感と開放感を味わえる。
上/niwanosoが手がけたお庭がヴィラを彩る。「提案いただいた雰囲気が気に入っています」と微笑む藤原さん。



上/専用の食事スペースでは、地元の食材のおいしさを堪能できる。また、自分たちで食材持ち込んでバーベキューを楽しむことも可能。左/広々とした寝室には、プロジェクターとスクリーンを用意。映画やドラマなどを見ることが出来る。



藤原 宜紀
Fujiiwa Yoshinori

1978年11月27日、上市町出身。株式会社藤原重機の代表取締役。令和3年に株式会社ONE DIVEを設立。グランピング施設「Namerikawa Granvilla」をはじめ、居酒屋「陣屋」やカフェの運営など幅広く展開している。

業務用のガスコンロを設置するほど料理が好きな藤原さん。先日のイベントでは540個の唐揚げを仕込み、注文から30秒以内に提供するというルールを自ら課し、すべて完売させた。揚げたての美味しさは、地域の賑わいに一役買ったといえよう。

2つの会社の代表を務め、多様な事業を展開し、趣味も多い藤原さん。具体的なビジョンを胸に、寝る間を惜しんでフル稼働する毎日だ。「グラッパは現状を維持しつつ、お客様に心地

よく過ごしてもらえるように改良しながらサービスを充実させていきたいと考えています。一方、ONE DIVEとしては、アグリ事業部を立ち上げて、滑川市で作物を育て、立山町で果樹園を作っていくかと思っています。そしていつか「牧歌の里」のような花畑を作りたいですね」と語る。「飛び込む」という意味を持つ社名どおり、新たなことに果敢に挑む藤原さんは、富山に元気の種を蒔き続けていく。

「いい土地を見ると活用したいというワクワクセンサーが働くのですが、ここは想像以上にいい場所でした。昼も夕焼けも夜景も美しく開放的。この景色を見ながら飲むお酒は一味違いますね」と微笑む。

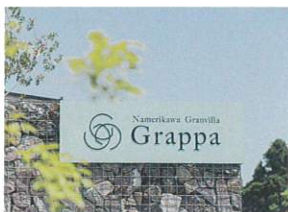
普段は、別の行きつけのお店でお酒を楽しむこともある。そんな時に共に過ごす仲間が、前川だ。お店で何度か顔を合わすうちに、自然と約束をして会う間柄になったという。「ざっくりばらんにいろいろ話を話していますよね」と前川がにこやかに話すと、「2人ともバイクに乗るので、今度一緒にツーリングに行きたいねと言っているんです」と藤原さんも笑顔で返す。

ある木の家に好感を持っていました。実際に住んでも心地いいですよ。庭のシンボルツリーも気に入っています」と満足げな表情を浮かべる。

牧歌の里、山間地の原風景、木の家。自然を愛する藤原さんの趣味は、登山である。「稜線に立った時に風にフワッと肌をなでられるのが、気持ち良くて」と、今年も立山から大日岳、奥大日岳、称名滝、桂台までの25kmを日帰り縦断する予定だ。そのための体力づくりとして、毎週日曜のジョギングは欠かさない。また、スキューバダイビングを目的に沖縄や伊豆へ出かけることもある。「その場所で見られない光景に、ただただ感動しますね」と、自然の中の貴重な体験が彼の活力となっているのだろう。ONE DIVEの事業のひとつとして、上市町で居酒屋「陣屋」を営み、さまざまなイベントにキッチンカーを出店している。自宅のキッチンに

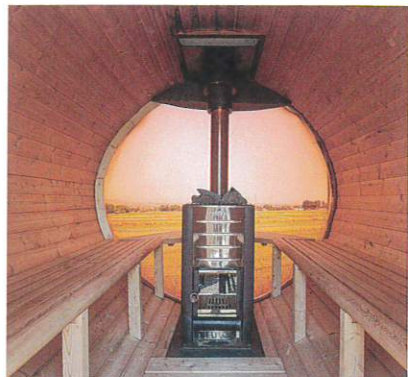
プライベートだけでなく、前川建築とniwanosoが藤原さんの自宅と庭、グラッパの庭を手がけるなど仕事としてのお付き合いもある。「もともと自宅を建てるなら前川建築さんで思っていました。オリジナリティの

周囲の景観に調和した「Namerikawa Granvilla Grappa」。富山の新たな魅力を発見できる。



Namerikawa Granvilla Grappa
〒936-0815 富山県滑川市大林81-1
<https://www.toyama-glamping.com/>





右/「Namerikawa Granvilla Grappa」のデッキスペースで豊かな自然を満喫する藤原さん(左)と前川。県内外からお客が訪れ、リピーターが多いのも頷ける。レンタカーを借りてまで訪れる人も多いそうだ。左/すべての客室に設置されている本格フィンランド式サウナ。滞在中は24時間いつでも気軽に体験できる。



タイプだが、藤原さんは冬場の積雪などを考慮し、四季を通して快適なヴィラタイプを選択した。1棟貸切型の客室には半露天風呂やサウナ、食事スペース、ベッドなどが設置され、カップルやグループ、ファミリーなど大切な人たちとプライベートな時間を満喫できる。隣の棟とは距離があるため、小さいお子さん連れのファミリーが安心して利用できるのもいい。また、2組の家族がそれぞれに1棟を貸し切り、ご飯は1つの空間で一緒に、寝る時は別々にというふうに活用することも可能だ。

藤原さんは、26歳の時に自ら設立した株式会社藤原重機の代表取締役でもある。建設業に力を注ぐ中、初めて宿泊業に取り組んだのは、自身の中で長く温め続けている構想を形にするためだった。「昔からずっと岐阜県にある『ひるがの高原 牧歌の里』が好きで、大自然を満喫できる場所を富山にも作りたいと思っていたんです」と語る。県内で夢を実現できそうな土地を探していた時に偶然出会ったのが、滑川市の山間地だった。その原風景に惹かれたことが、グラッパ誕生のきっかけだ。



上/サウナボンチョとサウナハットなど、サウナを楽しむためのアイテムも充実。左/サウナの横には、開放感あふれる水風呂も。温かいお湯を溜めてお風呂として利用することも可能だ。

あのひと
の暮らし

藤原 宜紀

滑川市大林 / Namerikawa Granvilla Grappa

訪ねた人：前川 守

木の香 株式会社 前川建築 代表取締役

富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちをご紹介するこのコーナー。

第7回は、滑川市にあるグランピング施設「Namerikawa Granvilla Grappa(以下、グラッパ)」の運営事業などを展開している株式会社ONEDINE(ワンダイブ)の代表・藤原宜紀さんを、前川建築代表取締役社長、前川守が訪ねました。

背には立山連峰、正面には田園風景から富山湾、能登半島まで一望できる山間地に、4棟のグランピングヴィラが建つ。それが、グラッパである。グランピングの建物の主流はテント

のどかな山間地を、
誰かと行きたくなる場所へ。